

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月18日

【評価実施概要】

事業所番号	272100785		
法人名	医療法人誠仁会		
事業所名	グループホーム「わかたけ」		
所在地 (電話番号)	〒038-3194 青森県つがる市木造若竹5番地 (電話) 0173-42-2133		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 1月 21日	評価確定日	平成 21年 3月 18日

【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造銅板葺平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	0 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 780 円			

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.7 歳	最低	75 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	尾野病院、平田歯科医院、えんじゅの里
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホーム周辺には役場や小・中学校、高校があり、中心商店街や駅に近く、利便性のよい閑静な住宅街の中にある。広い敷地内には、病院や老人保健施設を併設し、緊急時の医療対応や災害対策等の協力体制を整えている。ホーム内は暖かく、観葉植物がところ処に置かれて清潔な室内である。管理者、職員は、入居者ひとり一人の生活リズムを大切に、丁寧でゆったりとした話し方で対応している。食事の時間や爪を切っているとき等、職員は入居者と一緒に多くの会話を持つようして円滑な関係づくりを支援している。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域住民の交流に関する項目の理念づくりの課題は、ホールに掲示されている基本理念の下に文章化し掲げられており、地域との取り組みに努めている。また、消防署や警察署との連携により利用者への安全確保に関しては、防災訓練時の消防署の立会いや警察署の来訪があり、継続した協力体制は今後も望まれる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の意義を理解し、職員全員が事業所の取り組み状況を確認しながら、自己評価を実施してまとめている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>ホームの行事や入居者の日常生活の様子を紹介して、各委員から参考意見を聴いている。また、外部評価結果について公表し、現在の取り組み状況を伝え意見交換を行っている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族が面会に来られた時に健康状態や心身の状況、ホームでの暮らしぶりを報告している。また、ホームへの意見や苦情等をさり気なく聴いている。家族からの意見や苦情は、会議やカンファレンスで検討し対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の住宅とは挨拶を交わしている。地区の踊りの会の訪問や手芸作品を持参して交流している団体の訪問がある。また、市の恒例行事、地域のねぶた運行や法人敷地内での花見には、地域住民も参加して一緒に楽しんでいる。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で検討して事業所独自の理念としている。3つの具体化された理念には、地域との関わりも掲げられ、職員室前に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議や内部研修、カンファレンスのなかで理念を共有し、日々利用者に関わりながら、理念を具体化していくことを意識して取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の住民とは挨拶を交わしている。地区の踊りの会の訪問や手芸作品のプレゼント・交流の訪問がある。また、市の恒例行事や地域のねぶた運行、法人敷内での花見には、地域住民が参加して一緒に楽しむ。運営推進会議には、地区町内会から民生委員が出席し、地域交流を進めていきたいと考えている。町会への加入はしていない。		地域住民の一員として町内会に加入し、施設の敷地内に留まらず、地域の活動や行事に参加・協力することで、地域に必要とされる役割を担って行く努力が望まれます。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の意義を理解し、職員全員が事業所の取り組み状況を確認しながら、自己評価を実施してまとめている。評価後、結果を踏まえて改善箇所を検討して具体的に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>外部評価について公表し、現在の取り組み状況を伝え意見交換を行っている。運営推進会議の委員構成を見ると地区町内会や近隣住民の参加数が少ない。</p>		<p>地域に開かれたサービスとして質の確保を図る為に事業所のサービス内容や外部評価結果のモニター役としてのメンバーが望まれる。入居利用者や地域包括支援センター職員、地域住民代表者等へ参加を呼びかけ地区町内会等の参加数を増やし、話し合いの場についてもらう事が望まれます。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と連絡を取り合い課題解決に向けて随時、相談をしている。市からの実地指導の際は現場の実情やサービス等にかかわる報告をしている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は制度を活用できるよう対応しているが、職員の理解を深めるための勉強会は行っていない。</p>		<p>地域福祉権利擁護事業や成年後見制度の資料を整理すると共に、職員全員の学習をすすめ、理解を深めることを期待します。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止に努めているが、職員の理解を深めるための勉強会は行っていない。</p>		<p>高齢者虐待防止関連法についての資料や具体的な事例をもとに学習するなどして、職員全員が高齢者虐待防止についての理解を深めることを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の契約は、重要事項説明書を丁寧に十分に時間をかけて説明し、家族の納得を得ている。また、重度化・看取りについての対応について説明し同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会に来た家族には、健康状態や心身の状況、ホームでの暮らしぶりを報告している。小遣い等の金銭管理報告を毎月1回行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会に来た時には、ホームに対しての不満や苦情がないか触れている。家族等の意見については会議やカンファレンスで話し合い、運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>定期異動などがあるときは、入居者に紹介し、馴染みの関係ができる期間を十分取っており、入居者へのダメージを少なくしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	医療法人内の研修や外部研修、グループホーム協議会主催の研修等に参加している。ホームの内部研修は、日中の空き時間がなく、時間外で実施している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区グループホーム協会の主催する研修会に参加して、職員のレベルアップを図るとともに、各事業所職員と交流を進めている。ほかのグループホーム事業所から敬老会の招待を受けたり、来賓として来てもらう等相互に交流を行っている。また、運営推進会議に他グループホーム事業所の管理者が出席している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と十分話し合いながら、利用者の視点に立って支援している。入居後は、常に職員が間に入って周囲の利用者と調整したり、ひとりにしないように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物を職員と一緒にたたんだり、料理の下拵えを手伝ってもらったり、入居者の経験豊富な分野で力を発揮してもらっている。職員から「ありがとう」の言葉がけがあり、互いに支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の表情や会話から変化を読み取るようにしている。入浴時や食事のときに、和やかな雰囲気の中で入居者の気持ちを引き出し、希望、意向の把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月の家族の面会時に介護計画についての意見を聴いている。介護計画の大切さを共に認識し、入居者や職員の意見を取り入れて、作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>センター方式のアセスメントを活用し、日々の情報や家族からの入居前の様子を書き入れ、入居者の心身の変化や家族の要望に応じて実情に応じたケアにつながるように、介護計画を見直している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>隣接する施設の車輛を使用して通院の支援や買い物、2～3ヶ月に1回の遠足に出かけ対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居申し込み時や契約時に本人、家族は緊急時対応も含め、同敷地内の法人病院を希望し、対応している。協力医療機関以外の受診については、継続してホームと家族が通院を支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に終末期(看取り)の対応についてホームの主旨を説明し、本人・家族の意向を踏まえて同意書を作成している。また、医療が必要となった時の対応については、隣接病院の医師と密接に連携して対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄等の誘導は、さりげなく声掛けして、プライバシーに留意している。記録等の個人情報については、入居時に個人情報に関する使用範囲と使用場面を制限し、利用者・家族と同意書を作成している。ケース記録は、イニシャルで記載している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活リズムを大事にしており、一人ひとりのペースに合わせて生活リズムを整えている。また、その日の希望に沿って外出などの支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューは、入居者と食べたいものや季節の素材を加えたメニューを話し合っ決めてしている。職員も同じテーブルで食事をしている。食事の後片付けを積極的に手伝う方や、食事を終えてからも移動せず身近な話題で歓談する方もおり、和やかな雰囲気の中で昼食の時間を楽しんでいる。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望やタイミングに合わせて週3回の入浴をしている。入浴を拒否する方については、清拭や足浴をすすめて保清に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の下拵えを手伝ったり、配膳・下膳を行っている。事業所敷地内にホームの畑があり、草むしりや収穫の手伝いをしてもらっている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	少人数に分けて隣町の大型ショッピングモールに買い物に行ったり、本人の気分や希望に応じて天気の良い日は一緒に散歩をしている。また、家族の協力も得られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアに努めているが、職員全員が禁止の対象となる具体的な行為を理解するまでには至っていない。</p>		<p>介護保険法指定基準における禁止の対象行為についての資料を整理すると共にマニュアルを作成し、職員全員が理解を深めることを期待します。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関は、入居者の不安や閉塞感に配慮して、職員の見守りにより、日中鍵をかけずに安全に過ごせる工夫をしている。居室に隣接するボイラ-室・非常口は施錠している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>法人内の関連施設に防火管理者があり、消防計画に基づいて消防訓練を年2回行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>施設の栄養士が栄養バランスを考えた献立を作成し、ホーム職員が入居者の意見を取り入れて食事を作っている。食材は近隣のスーパーや併設施設にきている業者を通して購入している。食事量の少ない方は摂取量を記録し補食等の対応をしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に関するマニュアルがあり、カテキンを使用したうがいを毎日励行して予防に努めている。玄関先には外からの感染防止としてポンプ式消毒剤が置かれ入室前の予防を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは食事用テーブルと別に応接セットがあり、入居者はテレビを見ながら歓談している。入居者ごとにスナップ写真がアルバムになっており、最近の様子を見ることができる。廊下や壁面の掲示物は異食行為のある方がおり、高い位置で飾られている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>大きな収納タンスは、衣類の他に紙オムツ等のスペースを取っており、外から見えない配慮をしている。居室には洗面所・木製ベッドが備え付けられ、室内は床暖房で暖かい。窓からの日差しが入り明るい室内で過ごしやすく居心地がよい。</p>		

 は、重点項目。